

アートの深層世界を覗いて、美術館をもっと楽しむ。

東京国立近代美術館で単眼鏡のレンタル実施中

総合光学機器メーカー株式会社ビクセン(本社：埼玉県所沢市、代表取締役：新妻和重)は、東京国立近代美術館とコラボレーションし、美術館利用者向けに単眼鏡のレンタルを行っています。芸術作品に隠された、単眼鏡でしか発見できない緻密な細工や装飾などを楽しめます。



所蔵品ギャラリー（3F「日本画」コーナー）撮影：木奥恵三



トーマス・シュトゥールト《ルーヴル美術館4、パリ 1989》1989年、
タイプCプリント、138.0×177.0cm、京都国立近代美術館 ©Thomas Struth



森村泰昌《フェルメール研究（3人の位置）》2005年、カラー
写真、44.5×76.0cm、国立国際美術館
©Morimura Yasumasa

単眼鏡は、美術館で絵画に隠された緻密な細工を鑑賞したり、博物館でケースの中の資料の小さな文字を読んだりするのに役立ちます。作品の細部まで見るのが可能になるので、肉眼で見た場合とは違った新しい発見につながります。最近では、美術作品の魅力を面白く伝える単眼鏡を使ったツアーを開催するなど、単眼鏡を使った意外な美術の楽しみ方を楽しんでいる方が増えています。

東京国立近代美術館では6月16日(火)から9月13日(日)まで、『No Museum, No Life? – これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会』が開催されます。国立美術館5館の作品が集合した今回の展覧会は「美術館」そのものがテーマです。作品はもちろん、美術館の設備や活動までが紹介されます。普段は見る機会の少ない美術館の秘密を探る、貴重な機会となっています。

レンタル用に用意される単眼鏡は、4倍と6倍の2種類。レンズ全面に反射防止多層膜コーティングを施し、光の損失を高いレベルで抑制しています。コントラストの高い視野が得られ、室内でも細部まで観察が可能です。また、ポケットに入れて持ち運べ、かつ約20cm～25cmの近距離から焦点を合わせられるので、美術鑑賞に使い勝手のよい仕様となっています。



マルチモノキュラー4×12



マルチモノキュラー6×16

<単眼鏡レンタルについて>

東京国立近代美術館

レンタル料：無料

受付場所：東京国立近代美術館 1階 インフォメーションカウンター

<東京国立近代美術館について>

皇居の向かいにたたずむ日本最初の国立美術館。

日本の近代美術100年のあゆみをたどれる美術館は、日本でここだけとなっています。ジャンルは幅広く、国内外の近・現代美術12,000点を超える作品を所蔵し、年4～5回の展示替えて、毎回約200点を展示します。上村松園の「母子」や岸田劉生の「麗子肖像(麗子五歳之像)」などなじみの作品も数多くあります。国指定の美術工芸品の重要文化財は1万件以上もありますが、明治以降の絵画・彫刻では51件のみ、そのうちの13点を所蔵(1点寄託)しています。



東京国立近代美術館 外観 撮影：上野 則宏



皇居をのぞむ4F「眺めのよい部屋」で作品の感動の余韻にひたりながら休憩。

〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

(時) 10:00-17:00 (金曜日は20:00まで)

入館は閉館30分前まで

(休) 月曜日(祝日または振替休日にあたる場合は開館し翌日休館)、展示替期間、年末年始

(Tel.) 03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp>

<WEB サイト>

東京国立近代美術館
<http://www.momat.go.jp>

株式会社ビクセン
<http://www.vixen.co.jp>

<株式会社ビクセン 会社概要>

代表取締役 新妻和重

創業 1949 年 本社 埼玉県所沢市

天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、フィールドスコープ、ルーペなどの設計、製造を行う光学機器メーカー

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ビクセン

企画部 都築（つづき）・藤田（ふじた）

TEL 04-2944-4000 FAX 04-2944-4045

Email tsuzuki@vixen.co.jp・fujita.a@vixen.co.jp